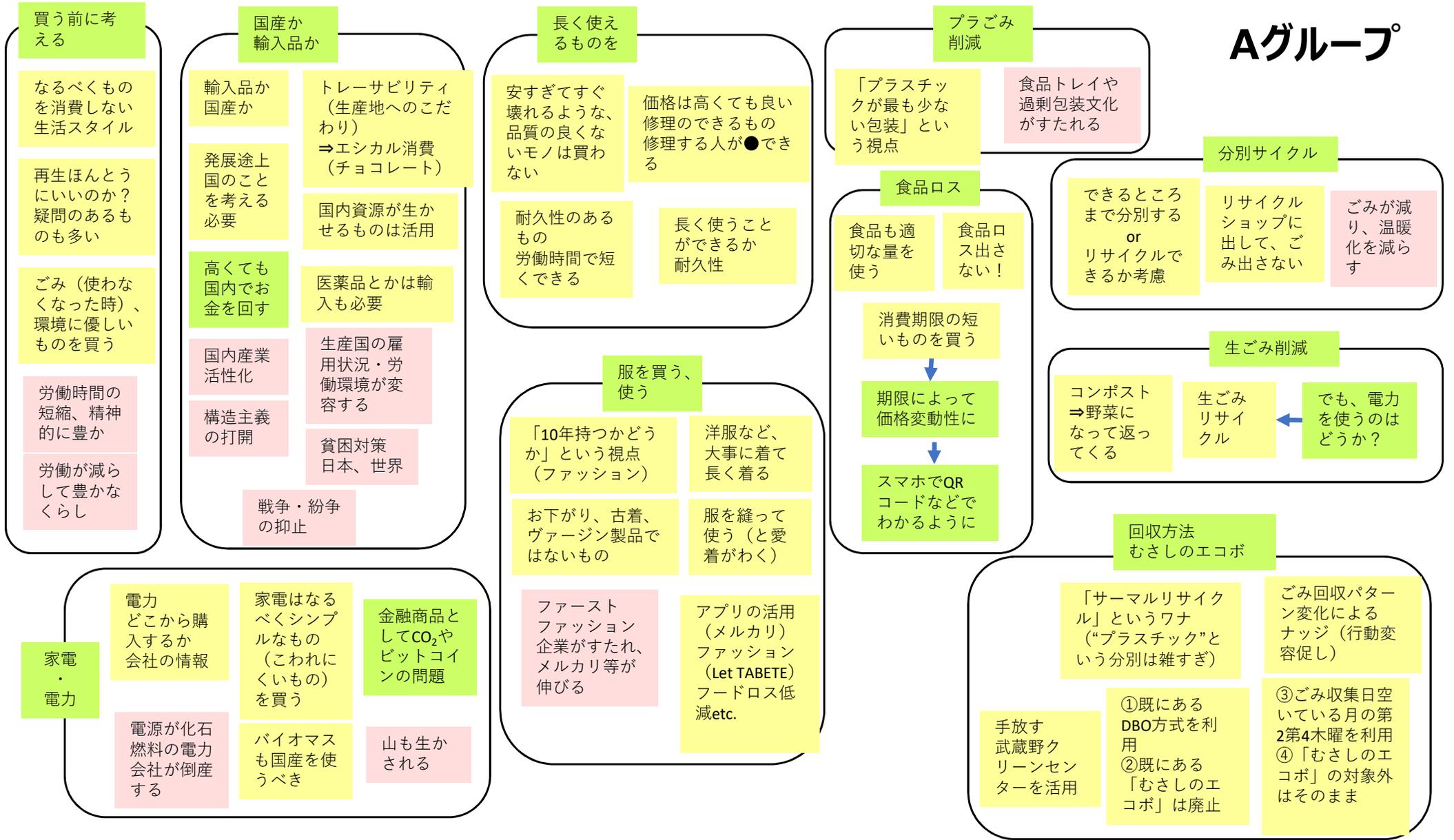
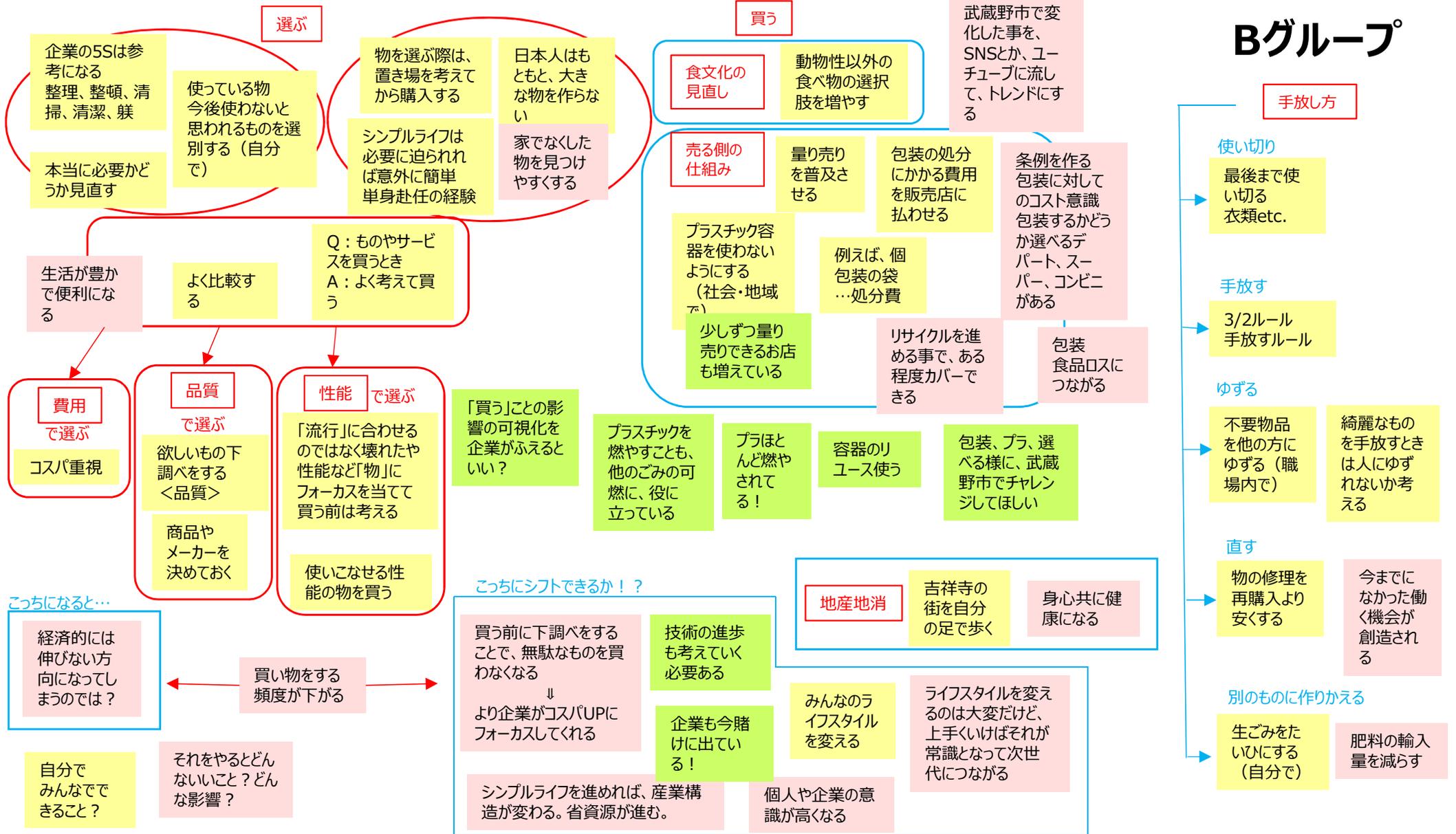


Aグループ



追加意見（会議後アンケートより）

Bグループ



Cグループ

買う

多くの人が意識するのが難しい

無知

資本主義

社会構造

消費選択行動

消費行動が変化化する

長持ちする社会

自分の住んでいる地域の特産品・特性が分かる

生産者を支えることができる

いつでも必要なものが手に入るとはかぎらない

消費が減る

賃金下降、景気低迷

物が売れなくなる

必要な量だけ生産

社会が変わる

社会構造を変化させる

再利用できるものを買う

エコマーク付きの商品を買う

量より質

地元で必要なものを手に入れる

専門店で買う

食品ロスの削減

無駄が出ない、出さない

無人化(レジ)

包装の少ないもの

燃費の良い車を買う

省エネ性能の高いもの

商品の選び方を変える

地元の商品の価値があがるブランド力

地産地消

手前から取る

買い物袋持参

生協のようなものに入る

個人店より大型店の方が便利(キャッシュレスなど)

2050年にCO2ゼロは困難
行動は努力目標をすべき(買い物袋を持参)

頑丈なもの

高いものしか売ってない

デザインがダサい

まちづくり

高くつくこともある

(生産者)個人の力では限界がある?

人間の活動量減らす

結局スーパーに行ってしまう

理想 現実 ギャップ

買うものを最小限にする

中古品で済むものは済ませる

買わずにシェア

CO2を吸収する商品を企業に要求する

必要な量を事前に検討して買う

ものが減ってすっきり

断費の日

日本経済低成長

需要の内容が変わる

使う

一番重要となる効果

理想あるけどCO2なかなか減らず

CO2が減る

温暖化を防ぐ

CO2削減

消費しても大丈夫な環境を作る(市政次第)

ムーバスEV化

インセンティブがない

面倒くさいことをする

不便を楽しむ

使わない

断食の日

断捨離の日

ダイエットサイズダウン少食

面倒

大切を使う

消費(消耗)を最小限にする

手放す

何でも再利用できるわけではない(いらぬものが全て売れない)

リサイクルする

消費が気候変動に影響する事を認識する

リサイクル商品を購入する

ごみの削減を意識する人はそんなに多くない

リサイクル

ごみが減る

ごみ処理場なくなる

シェアする

やっている場所が少ない・ない(お金にならない?)

ごみ処理場不要

捨てずにゆずる(リサイクルセンターの復活)

メルカリ

おもちゃの「とりかえっこ」のような場所をふやす

ごみが減る

欲しいものを気軽に手に入れられる

フリマアプリを活用する

人の和が広がる

欲しいものが安価で手に入る

本は売らずに交換する

使わない・いらなくなったものを人にゆずる

買うより経費が安くなる

フリーマーケットの復活

シェアする(車?)

こまめに整理ができる

分別してする

何でもかんでもすぐに捨てない(本当にもう使えないのか)

ごみを最小限にする

ロス食品の再活用

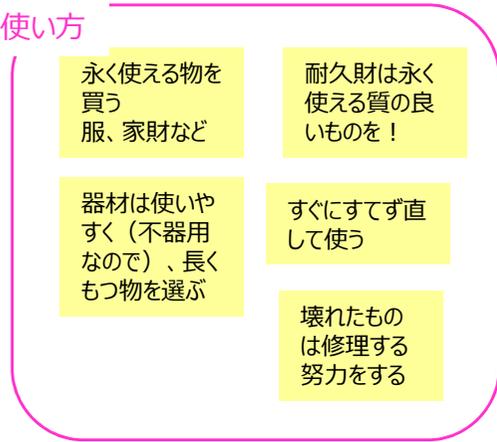
捨てる前に考える

家がきれいになる

追加意見(会議後アンケートより)

Dグループ

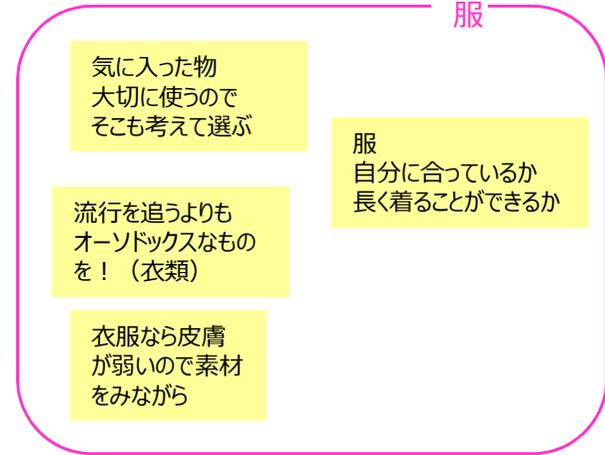
使い方



食



服



買ったものは使う

使えるけどいらぬものは人にあげる（リユース）

不用となったものは必要な人へ（ミューヘ）

今必要かどうか見極める
必要ないものは何に使えるか考える

NeedsとWantsを悩んで

一人一人が自分で出来ることを理解し実行する

大量消費をあおるCMにまどわされない価値観を育てる教育

環境と私生活のバランスを大切にする

自分の手元に今何があるのか把握する

シンプルな暮らし方をする

ペットボトルをリサイクルに出す

リユース

Shareやリサイクルの仕組みを活用する

手放す時、使えるものはバザーなどに寄付。使えないもの（布）はそうじで使い切る

作られた過程を知る

ECOに配慮した商品をえらぶ・えらびたい
↓
でもどれだがわかりにくい…

市のとりくみの見える化

市の活動に協力する

市の取組を知る

エコな活動出来る場を作る
みんなでやる

コミュニティを活用する

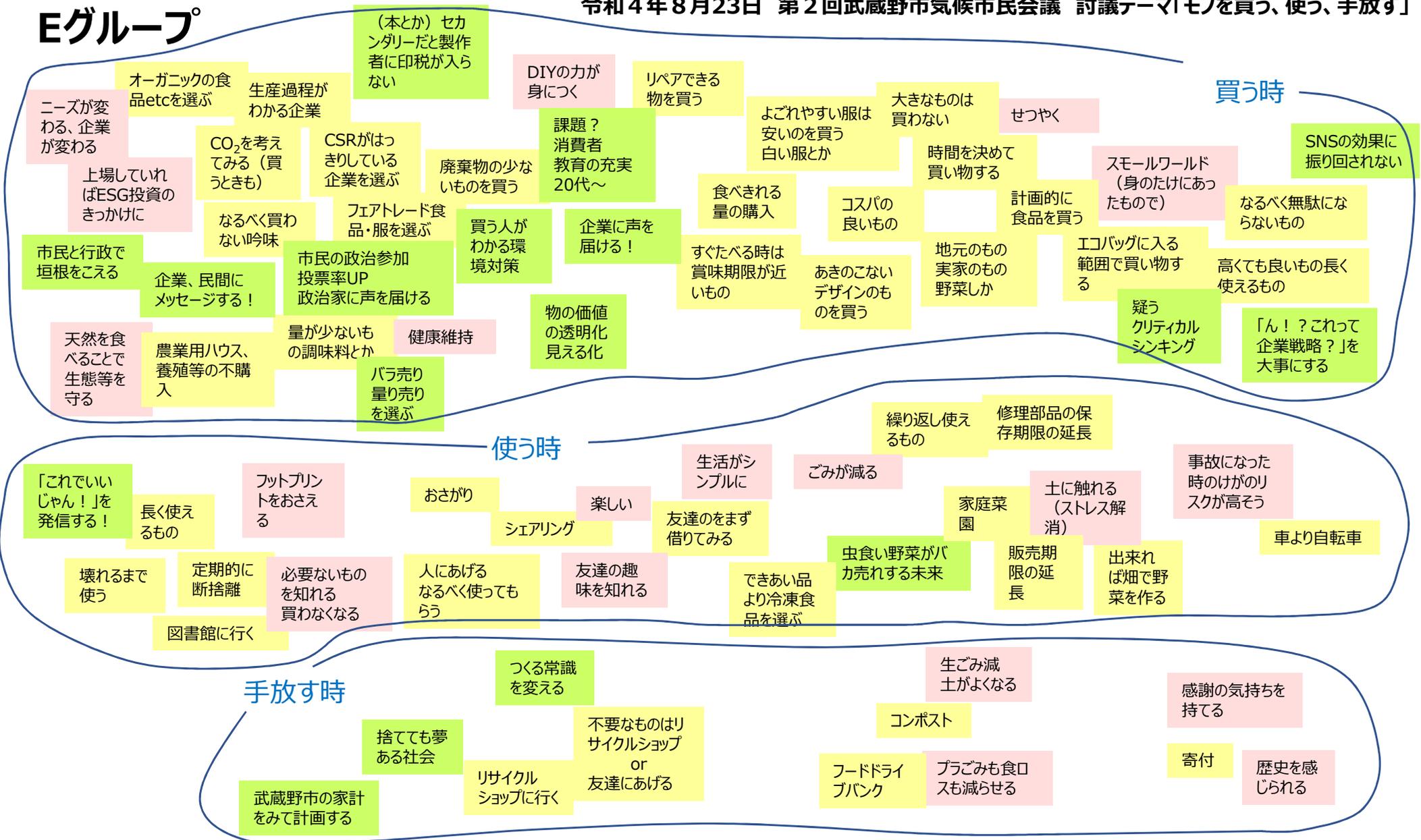
場

追加意見（会議後アンケートより）

モノに限らずエコな生活をコマゴマと工夫していますが、置かれた状況により誰もが出来るわけではなく、私自体が不自由になれば無理。しかし地球はすでに火事、気候崩壊という状況との世界的認識がある中、この気候市民会議開催の意義は解っているつもりですが、個人の努力には限界があることをベースとして確認する必要があると思います。

食品やお弁当の配給に並ぶ人々は排除されています。経済的に苦しくても、例えばリズムへの過剰な情報で煽って、無駄な買い物をさせる利潤追求企業もあります。女性がエコを考え購入するモノを選びたくても、考えようしない男性の意向が優先する、リズムも含めジェンダー平等のシステムに変わらないと厳しい現実があります。

Eグループ



追加意見 (会議後アンケートより)

物はそれにつわる人の歴史とも深く関わっている。そのため「歴史を捨てる」魔法の言葉はなかなかないかなと思う。

Fグループ

“便利”に勝る価値があれば、選択が変わる

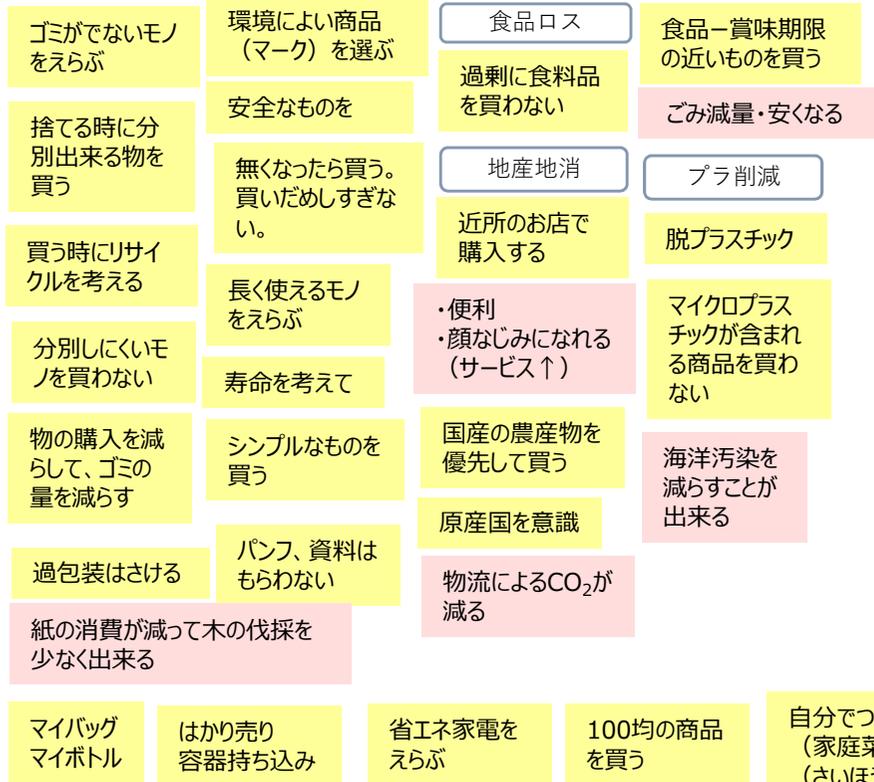
モノを買う

意識だけでは動かない

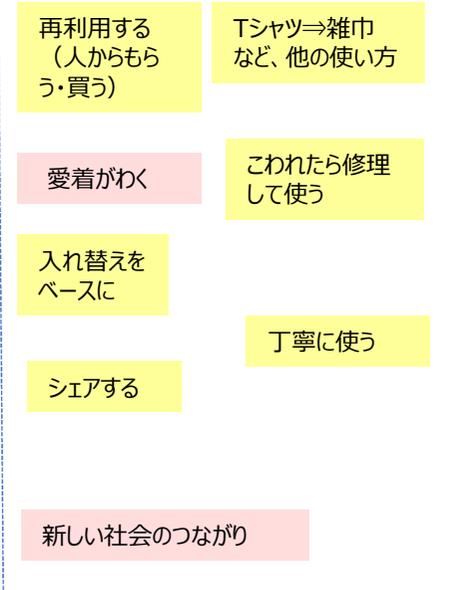
コストかかる

家庭から出るごみを減らせる

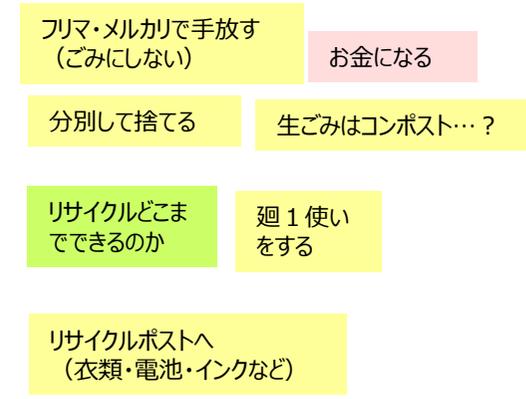
考えて選ぶ・エシカル消費



使う



手放す



追加意見 (会議後アンケートより)

物の買い方を変えていくことについて、意識が高い方については既に実践しているが、世の中の大多数が参画していくためには、政策的な対応(自然に対して影響のある商品の販売禁止や税制を不利に変更する)が必要になってくると考える。

古着等で見られるサーキュラーエコノミーを考えた時、今一番足りなく、そしてインパクトがあるのは住宅分野なのではないか。新築至上主義から脱却し、中古住宅に手を入れて長く住む(ヨーロッパの様な)行動が求められる。

Hグループ

何をどう買うか

ミニマリスト化を目指す
⇒所持品の数を見直す

安いから買うをやめる

食品の産地(国・地域)にこだわる

人件費にもしっかり金を使おう

物を保有する目標年数を決める

ごみの削減

消費選択行動が出来るのは経済的余裕による…

想像力をもつ
カーボンフットプリント
ごみになるか？

Made in Japanの製品を積極的に選ぶ

フェアトレードかどうかを考えて買う

野菜は全て食べられる、野菜をすてない

企業のESG/SDGsへの姿勢をみたくうえで買い物を判断

脳がよるこぶ消費
↓
心がよるこぶ消費

自炊をする
まとめ買いをしない、その度買う

日本の一次産業がも
りあがる
…?
地域活性
..
いい物にしっかり
金を払うと資源
消費がへる

企業の社会・環境・
経済への姿勢が変
わっていく
(大量生産思考な
ど)

認証制度など
で客観的に、
より大きな枠組
みで

安物買いは
SDGs失い

フェアトレード
は経済の質を
変える

行動変容に
は納得感を
お徳感

B-corp
等の認知

ESG投資と
市民が支持
しつづける

捨てるまでの
見通しをつけ
て買い物をす
るようになる

家族で取り
組めるよう
になる

周りの人
友達、家族
への影響

他者と一緒に

食べ物を余ら
せず料理でき
るように

ペットボトルを
買わない
水筒を持ち歩
く

続けることで積み
重ねられる

ムリのないこと
続けられる行動

継続するうえで

追加意見（会議後アンケートより）

フェアトレードやフオークリエイトの経済効果や気候変動などの環境への影響の良いところは、「同じ消費額を支払うと、GDPは下げずに経済の質を良くし、資源の消費や温室効果ガスの発生量が少なくなる」ことです。「脳のドーパミンに支配されるのではなく、頭と心を活性化させる消費」ということができます。

海外製品に対するフェアトレードと併せて、国内の「地方創成」や「新しい産業、環境にやさしい産業の創生」などのクリエイティブなものづくり、起業を応援する消費運動、例えば「フオークリエイト（For Create）」というような運動を武蔵野市から起こしてはどうか。

フェアトレードに対して武蔵野市がリーダーシップを発揮すればインパクトが大きいと考えた。それは、「短期的利益を最大にするために、生態系及び人間社会を地球規模で最も効率的に使うというグローバル経済のあり方、市場経済のあり方」を「まず、人間を尊重し、公共財を尊重する（市場）経済の在り方」に転換して行こうとする運動だと思いついたからです。子供を労働力としてではなく教育の対象と考えられるような収入と環境への気付きは、発展途上国の人口増加を鈍化させ、世界のCO2の排出削減や、適応策へのモチベーションを高めると思う。

オンライン αグループ

行動

波及
効果

どう
やって?

まとめ

野菜は無駄をなくすために、初めて調理する日に一気に切ったり皮をむいたりして次回使う際にすぐ使えるようにする。

市内にパッケージの回収ボックスをたくさん設置する

JA武蔵野等で地域の野菜、果物を買う。

古着は発展途上国の人たちに届ける団体に寄付する

車を手ばなす相手先は、災害被災地の車の必要な方へ。

車を減らす
(車無くても暮らせる)

残った食事は持ち帰る
(ドギーバッグ)

まとめ

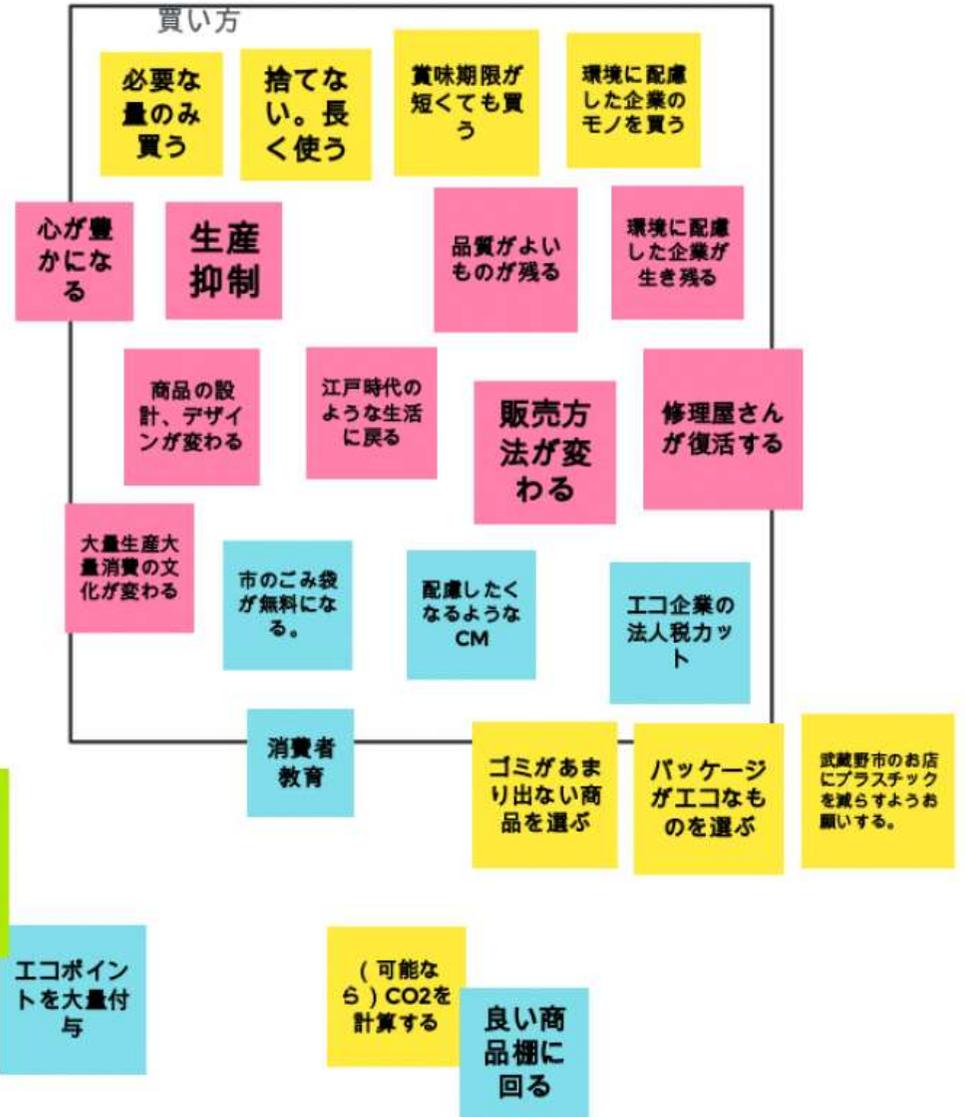
そもそも、なぜ今の文化ができたのか? 明らかにする。

1980年代を経験している世代と、それ以下の世代では消費マインドが違う。

エコポイントを大量付与

(可能な
ら) CO2を
計算する

良い商品棚に
回る



追加意見 (会議後アンケートより)

オンラインβグループ

行動 波及効果 追加メモ

モノを買う

買わずに済む方法がないかとりあえず考える

プラスチックで出来ていないか。ごみを増やさないようにするため。

国産品を買う。

知り合いから物を買う

通年で着回せる服を極力買う

お米は少ない量で精米したてなものを買う

大きい買い物：家電、ペーパーカーなど

ペットボトルを買わない。マイボトルを利用

レジ袋を使わない

家具、服など

部屋に物が溢れない

美味しい

買わずに済めば節約につながる

ブラゴミが出ないように配慮して買い物する（マイバッグなど）

自給率アップ

支援できる雑談できる

色んなお米が試せる

工夫する楽しさ

ゴミが減った＆手間が省けるようになる

製作した人たちが豊かになる。

廃棄物が減る。

街がきれいになって住みやすくなる。

理想はあるが実際はどうなのか？エシカルな消費が大事なのはわかっているが...値段などを見てエシカル消費が難しいこともある。意識を変えることの積み重ね>変容

プラスチック。災害時にも使えるもの。必ずしも服ではない。

ごみを触って子供が怪我をしない

環境配慮のものは高いものが多い

マイボトルや水筒を使うことは本当にエコ？と迷う節がある。水筒を洗淨する際にゴム製の水筒を使っている気がする。

ファストファッションに慣れていて環境配慮の製品は高く感じてしまう

生産者の顔が分かるものを気にしてはいるものの、価格が高いと感じる。何を大事にして選択するのかわからない。

モノを使う

子供のおもちゃ...プラスチック製も多い。おもちゃを自分で作る/一緒に作る、作るのも楽しい！

エコバッグ、マイ箸を使用する

エコバッグ、マイ箸を使用する

お弁当ではマイ箸

次世代（子供たち）に環境意識を培ってもらえる

ものを大切にすることを学ぶ

作るたのしさとまたやってみたい！の好循環

使い捨ての文化が定着していたかと思う。昔はタオル使ったら穴が開いても雑巾にして、最後まで物を大事に使っていた。壊れたら捨てる、という文化に変わっているのかも。>意識改革が必要。愛着を持って長く大事に使い込む。

モノを手放す

サイズアウトした子供の洋服は兄弟や友達の子供に譲る

メルカリで物売る

譲った相手と共通の思い出ができる

ポイントが入る

人に譲るために大事に使う

誰かの役に立ったという嬉しさ

お下がりや譲り合いによってヴィンテージのムーブメントが起き、積極的（好循環）なサステイナブルの動きに繋がる

売れると自分もうれしい

2022年の学校では...

毎日のように学校でSDGsの話題が挙げられます。

夏休みの課題もSDGsネタ

追加意見（会議後アンケートより）

マイボトルやマイ箸、ものの譲り合いに関して。その波及効果について、ものを大事にすると人と繋がりができるとか定性的な効果ではなく、定量的な効果がどこまであるのかが見づらい。

ゴミ箱の大きさを小さくすると排出するゴミの量に気遣い、波及効果としてゴミ箱で場所を取らなくなる。